

2025年度 アップルハウス地域連携推進会議議事録

日時：令和8年3月18日(水)10:00～11:30

構成員：利用者様、 後見人・成年後見センターかけはし藤田様(利用者家族)

相武台地域包括支援センター・長谷川様(地域の関係者)

訪問介護 千手管理者・鳥居様(経営に知見のある人)

相模原市障害者地域作業所等連絡協議会・西村様(福祉に知見のある人)

きらら相談支援専門員・櫻井様(福祉に知見のある人)

アップルハウス管理者 富永

アップルハウスサービス提供責任者 寺本、

アップルハウス所長 三浦

1、開会のあいさつ

事業所運営へのこれまでの御協力と御理解にお礼を伝える。

地域連携推進会議の開催の説明(令和7年度より新設され1年に1回以上の開催が義務化されました。)

2、出席者の紹介

出席者一人ひとり事業所との関わりを含めてあいさつをして頂きました。

3、議題(事例等の報告)

※日中サービス支援型における自立支援協議会への運営状況報告と同様に報告する。

① 運営状況報告

- ・施設の構造としてグループホームとショートステイの部屋割り、設備など
- ・利用者状況として障害程度区分・年齢構成・出身地など、
- ・職員の人員配置として職員人数や夜間の支援体制、研修の状況など

② 運営状況について、基本方針の説明。

- ・入居者の状況を伝え、新規の11月に入居された利用者様についての経緯を説明

③ 短期入所の利用状況・地域で生活する障害者の緊急一時的な支援等が求められていることなど

- ・短期入所利用の問い合わせがあった場合、どのように対応しているか
- ・短期入所利用を断っている場合はどのような理由からか

④ グループホーム内の支援体制、また気を付けているところ、支援方法の工夫について、パソコンを使っている方法を説明する。

- ・重度の利用者様への支援で苦勞していること
- ・事業所として、利用者の個々のニーズや障害特性に配慮した支援の工夫
- ・意思決定支援を意識した取り組みとして、新入居利用者様の例を使って説明

⑤ 地域交流の機会について

・事業所で社会的に交流を図るため意識して取り組んでいることとして、地域の自治会による年中行事への参加の様子を報告

⑥ 利用者の権利擁護を意識した取り組みについて

・障害者虐待防止法に基づき、どのような意識をもって取り組んでいるか

3ヵ月に1度の虐待防止研修、年2回の身体拘束適正化研修について報告

⑦ 意思決定支援を意識した取り組みについて

・事業所として、障害者の意思決定をどのように捉え、どのように支援しているか

・本人の意思を汲み取った支援のために事業所としての取り組み

4、感想・意見等

・かけはし藤田様

→余暇活動等についてアップルハウスの利用者とのドラムサークル・ボクササイズへ参加してもらい、参加した利用者がドラムを叩いてくれるなど変化が見られてきた。

・千手鳥居さん

→報告の中にあつた利用者との関わりの中でご本人と支援者の信頼関係がとても大切ですね。アップルの利用者様は、地域で顔なじみになっている方もいて、外出先で気にかけてくれています。

・相模原市障害者地域作業所等連絡協議会西村様

→高齢の利用者様について、サービスはサークルとか地域を含めたイベントなどいくつかあります。オンブズマンなども利用してみてもは。

・きらら相談支援専門員櫻井様

→アップルの支援や地域との関りがよくわかりました。

・地域包括支援センター長谷川様

→介護保険サービスでも地域密着型の施設で運営推進会議がありますが内容的に報告することは変わりませんがアップルハウスは内容が濃くて良いのご意見を頂きました。高齢の方もいて、介護保険で出来ないサービスもあるのを実感しました。良ければ、相武台でもラジオ体操を行っているのどうぞ来てください。

5、閉会のあいさつ

出席者へのお礼を申し上げます。

今後も引き続き適切な事業所運営を行って参りますので今後も地域の皆さまのご協力をお願いします。